



フィッシング啓発キャンペーン実施中

11月17日付公表によりますと、国民生活センターは、日本クレジットカード協会(JCCA)が実施する標記キャンペーンに関係諸団体とともに参画しています。

国内でフィッシング詐欺は年々巧妙化しており、2024年のクレカ不正使用被害金額は約555億円(その前年比で14億円増)となり、過去最悪を記録。特に、番号盗難の非対面型不正利用が全体の約39%を占めています。



本キャンペーンのメッセージ

1. フィッシング(決して「魚釣り」ではありません)に注意
2. メールに記載のリンク先に接続し安易にクレカの番号を入力しない
3. 誤って「2」で番号入力をしてしまったら、即座にカード会社へ連絡

本キャンペーンのサイトはこちらから

JCCAのホームページ内にある今回のキャンペーンサイトから、是非フィッシング予防の知恵を学んでみましょう。そして、決して騙されないことに徹しましょう。

裏面(次頁と次々頁)は昨年・一昨年に国センが発信しましたチラシです。

